



東邦大学 | 大森病院
医療センター

メンタルヘルスセンター
(精神神経科)

▼ 「最良の薬は人」を胸に

▽ 「人の病の最良の薬は人である」

精神医学においてはお薬も重要な治療法ですが、治療者の「人となり」がとても大切だと考えています。精神科医で作家の帚木蓬生氏が紹介された「人の病の最良の薬は人である」。医局員にぜひ大事にしてもらいたい考え方です。

教授 根本隆洋



▼メンタルヘルセンター（精神神経科）

▽閉鎖病棟（急性期病棟）

大森病院の精神科病棟は30床の閉鎖病棟で保護室も2つあり大田区やその周辺の100万人以上のキャッチメントエリアにおける精神科急性期治療を担っています。本研修コースにおいては、最新の設備と各分野のスペシャリストのもとで、児童・思春期および早期精神病から、慢性期のケアや認知症サポートまでを、生物・心理・社会に加えて倫理観もあわせたbio-psycho-socio-ethicalな幅広い視点で網羅的に学べます。



▽症例数

初診外来症例数（年）	約1400例
入院症例数（年）	約200例
クロザピン症例数（年）	約40例
mECT件数（年）	約20例
リエゾン症例数（年）	約500例

▽精神科病棟 全閉鎖30床

▽専門外来

児童思春期外来/ユースクリニック/
子どものこころ外来/てんかん外来/
スマホ依存外来/多文化間外来 ほか



▼キャリア形成

▽指定医・専門医等が最短の3年で取得可能!

東邦大学医療センター大森病院精神神経科は以下の専門医・認定医研修施設認定を受けています。



▶取得可能資格

精神科専門医
精神保健指定医



一般病院連携精神医学専門医
(精神科リエゾン専門医)
日本老年精神医学専門医
日本児童青年精神医学会認定医
子どものこころ専門医

▽大学病院ならではの指導

社会精神医学、児童精神、精神薬理学、思春期や早期介入、画像診断、産業精神、妊婦のメンタルヘルス、てんかん、認知症、多文化間精神医学など、多数の専門医および各分野のパイオニア、大学院生が在籍しているため、研究も非常に熱心に行っています。

▶研究

- ・年次を超えた闊達な議論
- ・英語論文の投稿・査読・抄読を通してアカデミックな視点が養われる
- ・臨床研究で学位取得が可能
- ・屋根瓦式指導方式



▽専攻医のスケジュール例

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟	初診陪席	外勤	病棟	病棟	病棟
午後	カンファ レンス 回診	病棟	外勤	病棟・外来 (再来)	外勤	
夕方	抄読会・ 症例検討 会	研究会 (大学院生ほか)				

	1	2	3
8:30	モーニング カンファレンス	8:30	モーニング カンファレンス
8:45	病棟回診	8:45	病棟回診
10:00	入院対応	9:00	外来
12:00	昼休み	12:30	昼休み
13:15	カンファレ ンス	13:30	病棟対応
14:00	教授回診	15:00	デイケア
15:00	チームカン ファレンス	16:00	カンファレ ンス
15:30	患者・家族 面接	17:30	終業
16:30	クルズス	16:30	オンライン 会議
17:00	薬剤勉強会	17:30	終業
17:30	終業		

▼医局の特徴

▽関連病院が近い

出向先病院は東京都23区、横浜市内、川崎市内にあるため引っ越しは不要です。希望者は先駆的なリハビリテーションで有名なあさかホスピタル（福島県郡山市）での研修も可能です。

▶研修連携施設

東邦大学医療センター大橋病院・佐倉病院・済生会横浜市東部病院・井之頭病院・武田病院・東京足立病院・鶴見西井病院・港北病院・あさかホスピタルなど



▽イルボスコ（精神科デイケア）

病棟のすぐ隣にあるユース向けの精神科デイケアです。精神疾患の前駆状態における適切な介入により顕在発症への進展を頓挫させる早期介入(early intervention)と、発症したとしてもフルリカバリーを目的としています。

対象：15～30歳までの方
期間：最長3年
時間：月～金/9:00～16:00



▽私生活の充実

夏休み、冬休みがあります。
また准修練医制度※の利用も可能です。
ライフワークバランスにあった働き方ができます。
※子育て、介護などのための短縮勤務制度



▽早期介入・早期相談

近年注目されている精神科早期介入（早期発見・早期治療）の取り組みとして、大森病院ユースデイケア「イルボスコ」の活動などを経て、若者向けワンストップ相談センター「SODA」の展開など、新たなステージに踏み出しています。

▶ **SODA**

Youth Mental Health Council



“Support with One-stop care on Demand for Adolescents and young adults”

・メンタルヘルスの悩みや何か困りごとを抱えた若者向けの相談窓口です。



meicis



“Mental health and Early Intervention in the Community-based Integrated care System”

・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の理念のもとで、地域特性を考慮した早期相談支援やユースメンタルヘルスの有効で円滑な導入を検討し、政策提言も行っています。

・350万人を超えた在留外国人もアクセスしやすい社会の構築のため、相談支援活動や研究成果の報告を国内外で行なっています。

▶ **フラットおおた**

大田区若者サポートセンター

・大田区が設置した若者向けの無料相談スペース。医局からは技術支援を行っています。





▽診療受付時間

初診 月曜日から土曜日

8時30分から11時まで

再診 月曜日から土曜日

8時30分から11時30分まで

休診日 第3土曜日、日曜日、祝日

年末年始（12月29日から1月3日）

創立記念日（6月10日）

※祝日・土曜日において、
診療体制を変更する場合があります



〒143-8541

東京都大田区大森西6-11-1

▽問い合わせ先

東邦大学医学部

精神神経医学講座

〒143-8541

東京都大田区大森西6-11-1

TEL:03-3762-4151（代表）

担当者：

舩渡川智之：tomoyuki.funatogawa@med.toho-u.ac.jp

福井恵理子：eriko.01.yamaguchi@med.toho-u.ac.jp

▽医局説明会

▼ 説明会Google form ▼